

広島大学 校友会だより

特集 ネットワーク再構築

報告 第13回 広島大学ホームカミングデー

先輩インタビュー

株式会社本田技術研究所 代表取締役社長
本田技研工業株式会社 常務執行役員

三部 敏宏 さん

(1987年 大学院工学研究科 修士課程修了)

夢の系譜 ドリームチャレンジ賞が育てたもの
医歯薬保健学研究科 小島 玲子さん
2007年歯学部卒 島田 泰如さん

広大ネットワーク



Hiroshima University Alumni Association

広島大学校友会

第13回 広島大学 ホームカミングデー

2019 (令和元)年11月2日 (土)
広島大学東広島キャンパス

第13回広島大学ホームカミングデーは、明るく穏やかな秋の一日でした。ゲストスピーカーが片岡鶴太郎さんとあつてか一般の方の来場も多く、大学祭などのイベントと行き来する家族連れの姿が終日続きました。



オープニングセレモニー

於サタケメモリアルホール

第1部



「思い出は歴史になる」

卒業生などから寄せられた写真をバックに
オープニング演奏

『フラッシング・ウインズ～きらめく風』

オープニングは教育学研究科音楽文化教育学講座有志がホームカミングデーのために特別編成したensemble「KYO-ON」の吹奏楽演奏。背景には、現在編纂中の『広島大学75年史(仮)』のために卒業生などから寄せられた思い出写真18点が投影されて、それぞれの時代の青春像を映し出しました。

「卒業生の尽力に感謝」

学長ご挨拶

広島大学長
広島大学校友会会長
越智 光夫



「世界水準の教育のために、広島大学は大学院の再編に着手しております」——広島大学の最新の動きを紹介した越智学長。卒業生の尽力で東広島キャンパスに誕生した施設「福山通運小丸賑わいパビリオン」にも触れ、ホームカミングデーでお披露目できることに感謝を述べました。

表彰式

表彰を受けられた方々

■ 広島大学長表彰

- 藤原 崇郎氏 (体育会剣道部 名誉師範)
- 後藤 公德氏 (技術センター 技術専門職員)
- 笹田 真人氏 (学術院 宇宙科学センター 特任助教)
- 中津 祐介氏 (学術院 大学院医系科学研究科 講師)
- 早坂 康隆氏 (学術院 大学院理学研究科 准教授)
- カンボジア児童の歯科支援活動 代表 香西 克之氏 (学術院 大学院医系科学研究科 教授)

■ Phoenix Outstanding Researcher Award

- 金指 正言氏 (学術院 大学院工学研究科 准教授)
- 富川 光氏 (学術院 大学院教育学研究科 准教授)
- 長澤 寛規氏 (学術院 大学院工学研究科 助教)

■ 教育賞

- 嶋原 浩氏 (学術院 大学院先端物質科学研究科 教授)
- 安武 公一氏 (学術院 大学院社会科学研究科 准教授)
- 山田 俊弘氏 (学術院 大学院統合生命科学研究科 教授)



オープニングセレモニー

於サタケメモリアルホール

第2部

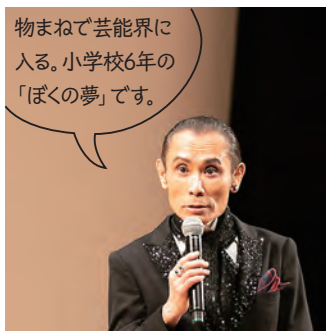
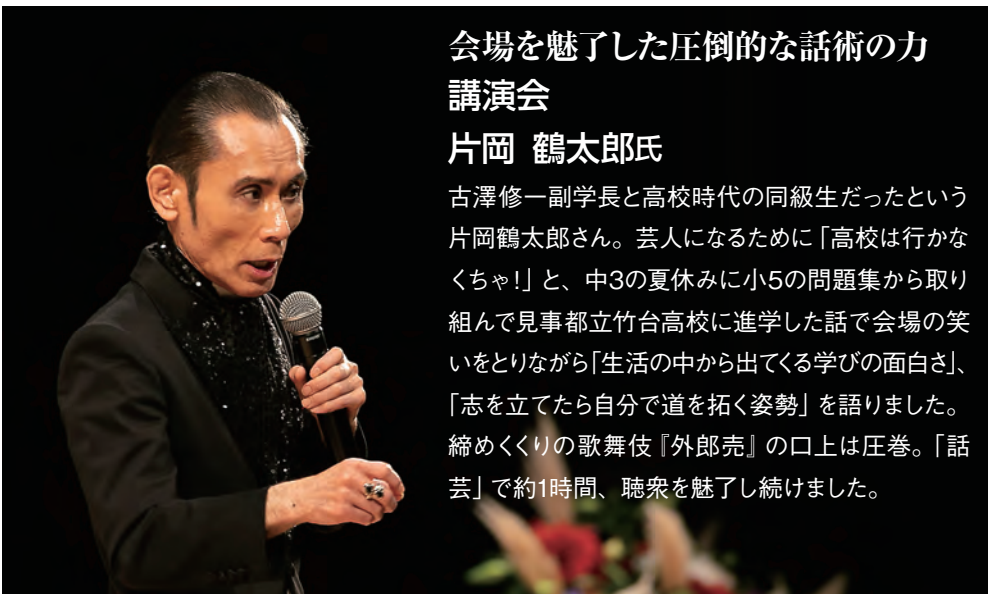
片岡鶴太郎さんに捧げる ensemble「KYO-ON」 オマージュコンサート

講演会に先立って、ゲストスピーカーをお迎える楽曲を演奏するミニコンサート。今回は、片岡鶴太郎さんが出演されたテレビドラマ『軍師官兵衛』『梅ちゃん先生』の主題曲など3曲を吹奏楽で演奏しました。

会場を魅了した圧倒的な話術の力 講演会

片岡 鶴太郎氏

古澤修一副学長と高校時代の同級生だったという片岡鶴太郎さん。芸人になるために「高校は行かなくちゃ!」と、中3の夏休みに小5の問題集から取り組んで見事都立竹台高校に進学した話で会場の笑いをとりながら「生活の中から出てくる学びの面白さ」、「志を立てたら自分で道を拓く姿勢」を語りました。締めくくりの歌舞伎「外郎売」の口上は圧巻。「話芸」で約1時間、聴衆を魅了し続けました。



ホームカミング広場

サタケメモリアルホール周辺



校友会学生チーム「先輩見つけ隊」
広島大学卒業生、在学生の写真でつなぐ「広大の輪」。卒業生を中心に38組の写真を撮らせていただきました。



校友会学生チーム野外ステージ
広場で休憩する人たちのために広島大学のクラブ、サークル7チームがパフォーマンスを披露しました。



連携市町の物産展
広島大学と協定を結ぶ市町からフードや特産品などの店が出展。ランチやお土産を求める行列もできました。



ブラジルにつながる穴
校友会学生チーム卒業生の東信伍さんが総務省「異能vationコンテスト」受賞作品を公開。人気を博しました。



懇親会(会費制)
学士会館2階のレセプションホールでは懇親会の立食パーティ。さまざまな人が参加して交流しました。



総

総合科学部・総合科学研究科
「英語でチャレンジ！
—多言語・多文化教室」

はじめに、英語で行う授業（EMI）の概要を担当の柴田教授から説明し、その後、EMIを履修した学生6人がシンポジウム形式で経験や今後に向けての提案を語りました。次に、大学院再編の状況を含めて進学についての説明を行いました。（～15：00）その後、総合科学部後援会総会を開催し、1年間の活動を報告しました。



文

文学部・文学研究科
「文学部で味わう
世界のティータイム」

一般の方にも人気の恒例企画。今回はインドネシア、中国、台湾からの留学生が出身地の文化やそれぞれの研究内容について発表。その後、立食形式で各国の味と香りを楽しみながら留学生と会話を楽しむ2部構成。今回も多くの方でにぎわいました。



教

教育学部・教育学研究科
オペラ「子どもと魔法」上演

M.ラヴェル作曲の「子どもと魔法」を日本語の訳詩で上演。舞台づくりから衣装、照明、演奏まですべて学生と教員が協力して上演するオペラはホームカミングデー恒例。今回も音楽棟の会場は満員の熱気に包まれました。



工

工学部・工学研究科
「OB・OG 交流アワー」・
「保護者のための
オープンキャンパス」

卒業生と教員・在学生の交流会と、学部3年生と博士課程前期1年の保護者を対象に進路選択の情報提供の機会となる説明会を並行開催。両イベントには事前に予約していただいた261人が参加。研究室見学も好評でした。



生

**生物生産学部・
統合生命科学研究科**
生物生産学部
創立70周年記念式典

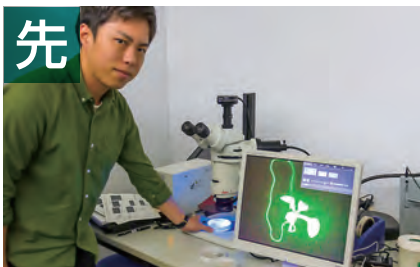
水畜産学部設置から70周年にあたり元学部長3人を招待して新看板の除幕式を行いました。その後、17年ぶりに再編した学部教育プログラムを紹介する講演会、東広島市などとブランド化を進めている広大鶏の試食会と続きました。



情

情報科学部
15：30まで生激論—
AIが人間を越える?!～
シンギュラリティと人類

金融サービスを中心に急速にIT技術革新が進むバルト三国の一つリトアニアの近況をゲレザウスカス氏が講演。その後「ターミネータなるものが現れるのか？」など興味深いテーマで一般参加者と学生が熱く討論を交わしました。



先

**先端物質科学研究科・
統合生命科学研究科**
科学の先端が分かる



放

放射光科学研究センター
先端科学研究の現場を探訪

放射光施設及び世界最先端の実験装置の見学と、-196℃の液体窒素や超電導、光、磁気などを使った、目の前で見て触れて体験できるおもしろ実験を実施しました。子供から大人まで、多くの来場者で賑わいました。



博

総合博物館
魚がつくる模様と形
～アマミホシゾラフグのつくるミステリーサークルの秘密に迫る！～

アマミホシゾラフグのミステリーサークルの3Dモデルや不思議な形をした魚の標本、研究パネルで、魚がつくる模様と形の多様性について紹介しました。子どもから大人まで生き物の不思議について知ることができたと、とても好評でした。

東広島キャンパス 2019年11月2日(土)



法・経

法学部・経済学部・社会科学研究所 「パネルで振り返る 法学部・経済学部・ 社会科学研究所の1年」

会場を教室から法学部・経済学部講義棟ロビーに変更して、法学部・経済学部・社会科学研究所が過去約1年間に実施した講演会、シンポジウム、ユニークな授業などをパネル展示で紹介しました。活動を俯瞰できるパネル展示でした。



国

国際協力研究科

IDEC OPEN DAY 2019

留学生と研究科院生が各国の伝統料理やファッションを披露するIDECオープンデー。今回も大勢の来場者に楽しんでいただきました。JICA中国と連携して実施した世界共通の目標である「SDGs」をテーマにしたゲームイベントも人気でした。



文書館

文書館 「広島大学の歴史」展



理

理学部・理学研究科 化学教室創設90周年記念 祝賀会・懇親会

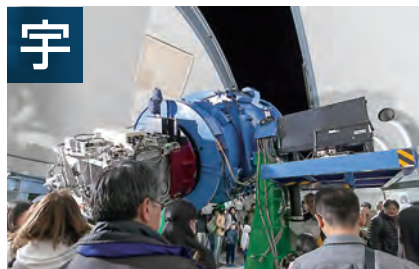
「広島に化学のともびたちあがり九十年の記念日迎う」—記念の祝賀会を卒業生、教職員37名の参加を得て西条HAKUWAホテルで開催しました。次の100周年を目標し理学部化学科のますますの発展を誓う会でもありました。

生物科学科同窓会

恒例の記念講演会では、広島県立総合技術研究所の長久逸氏が「携わった農業の仕事と広島大学との繋がり」という演題で講演。初めて学外から招いた講師で農業に関わる育種の話が中心だったためか、卒業生だけでなく一般の方の参加もあり盛況でした。

地球惑星システム学専攻 「ホームカミングシンポジウム」

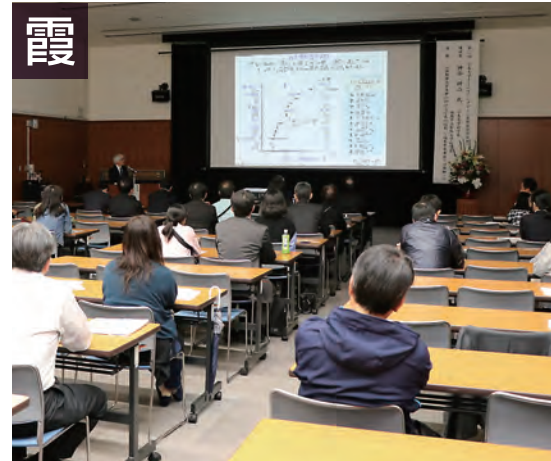
「官公庁での仕事」というテーマのもと、福岡管区気象台の藤原みどりさん(2001年修了)、原子力規制庁の木原昌二さん(1998年卒業)、資源エネルギー庁の梅原徹也さん(1994年卒業)の講演と大学院生の研究ポスター発表に約50名の参加がありました。



宇

宇宙科学センター 東広島天文台観望会

霞キャンパス 2019年11月9日(土)



霞

霞地区合同

医学部・歯学部・薬学部・医系科学研究科・原爆放射線医科学研究所・大学病院

講演会

広島大学副学長の神谷研二先生(福島県立医科大学副学長を兼任)による講演会。「放射線災害復興に於ける広島の役割～福島原発事故での経験～」という演題で、福島の復興支援と放射線災害における広島大学の役割をお話いただきました。

東千田キャンパス 2019年11月16日(土)



東千田

法務研究科

法科大学院講演会

東広島キャンパスホームカミングデーの2週間後、NHK解説委員として活躍中の清永聡さん(1998年卒)による講演会を開催。「司法・報道の立場から見た家庭裁判所70年」と題して、これまでの取材経験を踏まえた話を聞かせていただきました。

ネットワーク再構築

広島大学E.S.S.の模索

【広島大学関東ネットワークワインパーティ】

首都圏に在住の方は参加されたことがあるかもしれません。2018年夏以来、2020年2月で6回目の開催となりました。毎回、さまざまな国のワインが並びますが、「同じ銘柄は二度と出さない」のが自慢。ワインリストが用意され、それぞれのワインの特長など知識も蓄積できます。

パーティの特長は“フリースタイル”。「主催者挨拶」もなければ「閉会の辞」もなし、開催時間中であればどこから入ってもOK、途中退出も「ご自由に」という自由さ。「勤務を終えて会社帰りに立ち寄れる」という参加者も多く、これも人気の一つの理由です。

このワインパーティには原型があります。広島大学E.S.S.の「ワイン会」です。



広島大学関東ネットワークワインパーティのご案内などをお送りします。東京オフィス登録フォームから、関東ネットワークにご登録ください



2019年6月に開催された第4回広島大学関東ネットワークワインパーティ。

友だちの集まりが100人規模のワイン会へ。 そこにはE.S.S.への強い愛着がありました。

友だちの集まりから E.S.S.の定例会へ

ワイン会を主催してきたのはE.S.S.の創設者でもある鎌田望さんです。

鎌田さんは1974年に政経学部（現在の経済学部）を卒業して伊藤忠商事に入社。ロンドンや北欧、シンガポール、ニューヨークなどの海外勤務を終えて帰国した後、E.S.S.時代からの友人を自宅に招いてワイン会を開きました。

「海外勤務中は、仕事関係やプライベートの知人たちを自宅に招いてワインパーティをたびたび開いていました。その延長線上で、日本の自宅にもデパートのワイン売り場並みの本数のワインがあり、それを提供してワイン会を定期的で開催することで周囲の皆さんの人脈が広がって行くのは嬉しいことです」

世代をつなぐ “鎌田ネットワーク”

その後ワイン会は東広島キャンパスでも開かれるようになり、E.S.S.のネットワークを通じて広島の卒業生にも広がっていきました。

同窓会組織を作って名簿を整備しているクラブもありますが、E.S.S.には同窓会はありません。

ただ、E.S.S.には特殊なネットワークがあります。それは、創設者の鎌田さんです。E.S.S.設立当時の仲間に加え、卒業後も大学に足を運び、新入生歓迎会や忘年会といっ



た後輩たちのイベントに顔を出し続けました。海外勤務の時期を除いて、キャンパスが移転した後も東京から東広島を訪れ、どんどん年齢が離れていく現役生たちと交流し、連絡網が広がっていきました。

「私、E.S.S.への思い入れは世界最大級に強いですからねえ」と鎌田さんは笑います。

こうして、世代を超えた“鎌田ネットワーク”が築かれ、卒業生のメーリングリストが出来上がっていったのです。

在学生をネットワークした 広島のキーマン

E.S.S.のネットワークには、もう一人、キーマンがいます。笹木重毅さん（1979年政経学部卒）。現役学生を巻き込んで広島のネットワークをまとめていった人です。

広島県職員で地元の卒業生の連絡網を持っていた笹木さん、現役生とも接触しながら鎌田ネットワークに若い世代を呼び込んでいきました。

しかし、その笹木さんが数年前に亡くなってしまったのです。広島のネットワークはキーマンを失ってしまいました。

ビエンナーレミーティングと ネットワークの危機

その現状に危機感を抱いたのが山田耕三さんと松原由典さんです。

「私自身、転勤が多くてずっとE.S.S.とは疎遠でした。定年後広島に帰って顔を出せるようになったのも笹木君のメーリングリストに入っていたおかげ。ところが、彼が亡くなってしまった。せつかくここまでネットワークができていたのに、このままではバラバラになってしまう」と山田さん。

松原さんは、笹木さんの後で広島のネットワークを任せられました。

「広島周辺の卒業生が2年ごとに“ビエンナーレミーティング”として集まるんですが、50歳以上ばかり。最近現役生に入ってもらったけど、その間の世代がスッポリ抜けている。そこを埋める卒業生情報が見つからない。同期の友だちで集まっている人はいるはずなんです」

二人が声を揃えるのは“鎌田ネットワーク”の活用です。

「現在は、鎌田さんを軸にしてネットワークが動いています。鎌田さんに会いたくてワイン会や忘年会に来られる方もあり、それはE.S.S.の財産です。鎌田さんが広島に来られるうちに、広島のE.S.S.ネットワークを再構築したいんです」

12月29日午後6時半 広島の「まする」で

広島大学E.S.S.（イングリッシュ・スピーキング・ソサエティ）がスタートしたのは1970年。その時決めたことがあります。「12月29日午後6時半から、まするで忘年会をする」ということです。「まする」は広島市の中心部にあり、安い値段ですき焼きを食べさせてくれる店。E.S.S.の学生たちはここで、毎年同じ日時に「忘年会をする」と決めたのです。

この約束は半世紀間、変わることなく続いています。連絡網からはずれてしまっても、毎年、この日時にまするに行けば、誰かE.S.S.の卒業生か現役生がいる、というわけです。

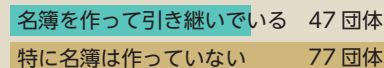
クラブ・サークルの現状 半分以上が「名簿なし」

『校友会だより』編集室では現在広島大学で活動しているクラブ・サークルにアンケートをお願いして連絡網の有無を尋ねました。体育会を中心に約38%が名簿を作って引き継いでいますが、半数以上は「特に名簿は作っていない」と答えています。

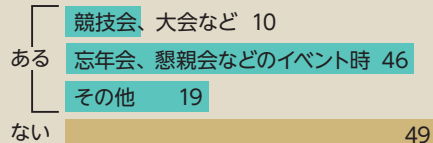
クラブ・サークルにアンケート

現在、広島大学には230以上のクラブ・サークルがあります。アンケートに答えてくれたのは168人。同じ団体からの複数人回答を整理して回答団体数は124団体です。

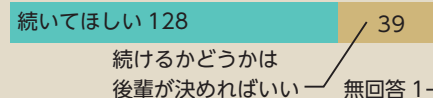
卒業生名簿をつくって次の年次に引き継いでいますか？



卒業後5年以上の先輩と顔を合わせる機会がありますか？ あるとすればどういう時ですか？



あなたの代が卒業しても、クラブ・サークルが続いてほしいと思いますか？（個人回答）



ネットワークを作るのも維持するのも人の意志。 ネットワークは“人のつながり”なのだから。

ネットワークを支える4人に話を聞きました

具体的にE.S.S. メーリングリストの課題として取り組むべきは何なのでしょう。もしかししたら、それはE.S.S.だけの問題ではなく、ネットワークの多くが直面している問題なのかもしれません。

この特集のためにE.S.S.卒業生2人と、メーリングリストを使って現役生の活動やイベントの告知を行う2人、合わせて4人に集まっていた話話をうかがいました。

そこから見えてきた課題と方策を3つにまとめました。

E.S.S. ネットワークについて話してくれた方

●現役生の役職は2019年夏時点のものです。



山田耕三さん

1978年政経学部卒業
ラインはダメ、メールはまあまあ。私は連絡は電話が一番だと思っています。こういう人にも集まってほしいんです。

松原由典さん

1983年工学部卒業
連絡先だけでも教えてください。ネットワークにつながっていれば、いつでもE.S.S.に還ることができます。



上村莉久さん

広島大学E.S.S. 部長
工学部二類3年生
E.S.S. メーリングリストに入っている現役生は役員だけ。ワイン会のような、現役生と卒業生をつなぐ機会がほしい。

加藤菜月さん

広島大学E.S.S. OB 担当
工学部三類3年生
メールとラインで卒業生、現役生への連絡を担当しています。別々のネットワークをまとめることができたらいいのですが。



課題 1

メンバーの変化をキャッチする

どんな名簿管理にも共通する課題として挙げられるのがこれ。卒業や転勤、結婚などで住所やメールアドレスが変わり、そのまま連絡がとれなくなるというケースは少なくありません。メンバーの自己申告に頼るだけでなく、メンバーが申告しやすい仕組みを用意して、連絡メールに必ずリンクを付けるといった小さな試みも案外、効果的かもしれません。

無料の連絡先情報サービスも利用できます。

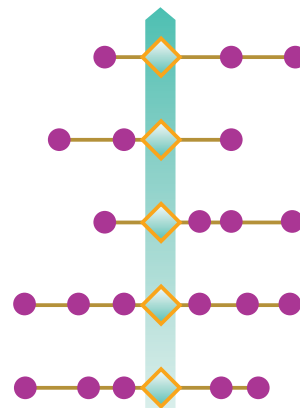


【例】 google 連絡先情報サービス

課題 2

友だちネットワークを活用する

「30～40代の卒業生が抜けている」というE.S.S. ネットワーク。「近い世代のメンバーから声をかけてもらう」という地道な方法を模索しています。山田さん、松原さんも「同期の友だちとは時々会っていましたよ。そういう時、一言誘ってもらいたい」同期の友だちネットワークをE.S.S. ネットワークにつないで世代間のバラツキを埋めることができれば、次の世代へのバトンタッチもスムーズに行くことでしょう。



課題 3

アプリの壁を乗り越える

もう一つ、大きな問題がありました。メーリングリストでは届かない人が出てきたのです。すでにここ数年、現役生の間ではラインの連絡網ができあがって、「メールは見ない」という人も多くいます。卒業生の中でも希望連絡手段としてラインを挙げる人がメールを上回りました。

とはいえラインは、在学中こそメンバーの顔が見えますが、卒業生ネットワークに広がる名前確認という問題が生じてきます。

さらに、今後新しい人気コミュニケーションアプリが登場すれば、現在の連絡網から移るメンバーが続出するはず。新しい連絡手段に対応するためにも、若い在学生との意見交換が必要になってくるでしょう。



協力メンバーは約87%

この企画のために「校友会だより」編集室はE.S.S.の協力のもと、卒業生と現役生にアンケートを行いました。注目したいのは「E.S.S.の連絡網を維持するため、協力してもいいと思われませんか?」という質問に対して約87%の卒業生が「協力してもいい」と回答していることです。

卒業生の危機感が現役生を含めて多くの人に共有されるのか、確かではありませんし、ネットワークの維持に対する熱量は人それぞれ違うかもしれません。

しかし、世代差や個人差を超越したムーブメントを創り出すのも、また人の熱量であり馬力です。

危機感をバネにどんなネットワークを再構築するか。E.S.S.の動きは他の多くのネットワークにも影響を及ぼすのではないのでしょうか。

ネットワークの維持についてご意見をお聞かせください。ご提案も歓迎です。



卒業、転居の情報をお知らせください。
校友会への連絡は会員用Webサービスで。

詳しくは14ページ→

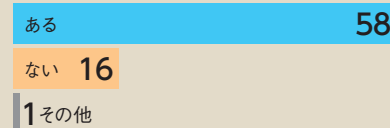
E.S.S.卒業生と現役生にアンケート

卒業生75人、現役生33人から回答をいただきました。

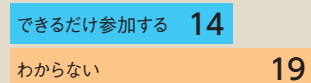
卒業生 ウェブ回答73、メール回答2

現役生 全員ウェブ回答

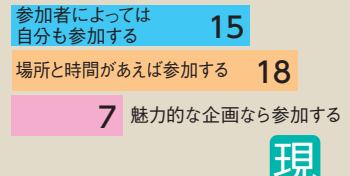
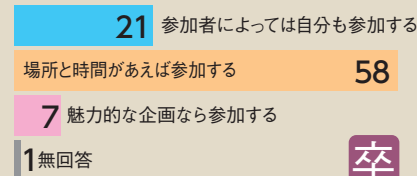
卒 卒業後E.S.S.の集まりに参加したことがありますか?
(忘年会、ワインパーティなど)



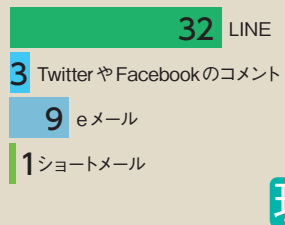
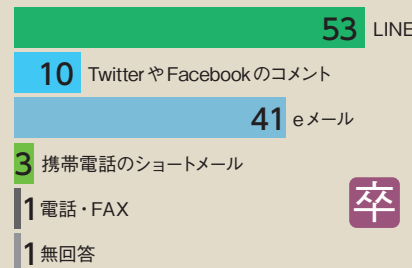
現 卒業後もE.S.S.の集まりに参加したいと思いませんか?
(忘年会、ワインパーティなど)



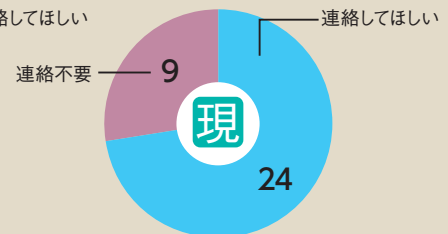
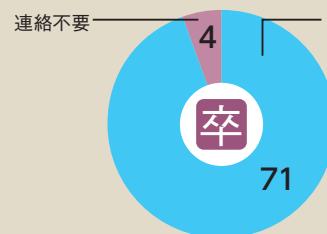
どんな集まりなら参加しますか? (複数回答あり)



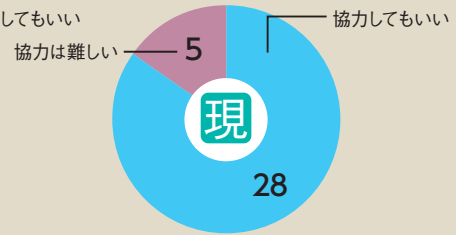
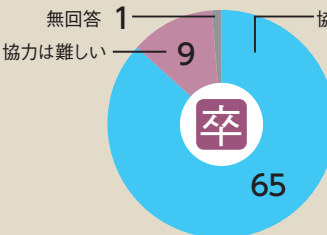
あなたが利用しやすい連絡方法を教えてください。(複数回答あり)



今後もE.S.S.からの連絡があった方がいいと思われませんか?

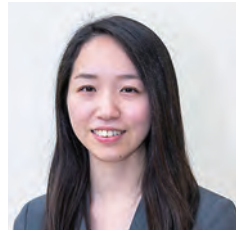


E.S.S.の連絡網を維持するため、協力してもいいと思われませんか?



第12回ドリームチャレンジ賞受賞

スポンジ形状チタンの植物栽培への応用。 ドリームチャレンジ賞でドリームを現実に。



小島玲子さん
研修医時代に広範囲に顎骨が欠損した患者さんと出会ったことが現在の研究に進むきっかけだった。現在も歯科医師として患者さんと向き合っている。

医歯薬保健学研究科 先端歯科補綴学研究室 博士課程 4年

こばたけ れいこ
小島 玲子さん

チタンで骨をつくる

小島さんは、先端歯科補綴学研究室でチタンを使って骨をつくる研究に携わっています。

耳慣れない言葉ですが、補綴(ほてつ)とは、歯が欠けたり欠損したりした部分を人工物で補うこと。小島さんの研究室では、広範囲に顎骨が欠損したところへ骨をつくることに取り組んでいます。

チタンは生体親和性に優れ、また高い強度を有する金属素材のため、医療に使われます。これを多孔構造、すなわちスポンジのような形状とすることで、骨をつくる足場とする研究が進んでいます。「骨を失った部分に骨をつくることができれば、その後の補綴治療も可能となります」小島さんが説明してくれました。

金属のスポンジ

スポンジ形状チタンは、周りから血液供給を得て、骨をつくる足場となります。「これを植物栽培の培地にしたらどうなるだろう」小島さんは、ふと思いつきました。血液を通すスポンジ形状チタンなら、水や養分も通すはず。植物



は孔の間に根を張って成長するかもしれない。土の代わりに使えば、広い土壌が不要で、水分や養分の管理がしやすい、さらに見た目にもおもしろい栽培培地になるかもしれない。

思いつきを試してみたい

ただ、思いつきを試してみるための資金は研究室にはありません。歯学の研究室ですから。そこで、小島さんはドリームチャレンジ賞に応募することにしました。

幸い助成金は獲得できましたが、実際に挑戦してみるには十分でなく、高価なチタンの代わりにまずはステンレスを使うことにしました。

いろいろな大きさの孔を有するスポンジ形状ステンレスを製作し、植物の生育に適した孔の大きさや形状を探りました。実際に植物が育つことがわかり、さらにキャンパスベンチャーグランプリなど他の資金獲得を目指して申請も行い、中国地方大会で優秀賞を獲得することができました。

医療から、異なる分野で育つ可能性

農業の工業化が進んでいるなかで、金属の培地は「液肥の管理がしやすい」「培地を繰り返し使うことができる」「積層可能で広大な土地面積が不要」といった、工業化に適した利点を持っています。

もちろん、コストの問題など解決しなければならない課題は多くありますが、もともとの医療への取り組みから農業へ、大きな可能性を秘めたものであることは間違いありません。たとえば、科学技術の進歩と地球環境の悪化から、火星移住計画を耳にすることがありますが、もしかしたらスポンジ形状チタンの植物栽培培地は宇宙でも使用できるかもしれません。

「ドリームチャレンジ賞というきっかけがなければ、ふとした思いつきを実際に試してみることはなかったかもしれません」と小島さん。ドリームチャレンジ賞が農業工場など将来の産業の成長につながっていく—そんな未来図はドリームチャレンジ賞の“ドリーム”です。

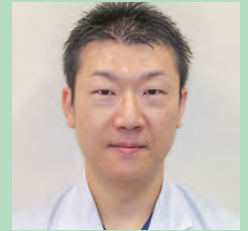


実験に使ったステンレス製多孔体。

ドリームチャレンジ賞の助成で「やりたいこと」を実現した在学生。「やり遂げた！」経験を持つ卒業生。ドリームチャレンジ賞が育てた夢たちをご紹介します。

第1回ドリームチャレンジ賞受賞者

歯科医の活動の場は世界に広がる それを実感させてくれたJAVDO。 歯学部の後輩にも意義を伝えたかった。



島田泰如さん
「卒業後同窓会の原田康夫会長にドリームチャレンジ賞受賞のお礼の手紙を出したら、会長からいねいなお返事をいただきました。今でも大切に持っています」

やすゆき
島田 泰如さん
2007年歯学部卒
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科勤務

藤岡道治先生との出会い

島田泰如さんは19年前、群馬県から広島大学歯学部に入學しました。ここで、いくつかの運命的な出会いがあったといいます。その一つが、藤岡道治(みちはる)先生との出会いでした。

藤岡先生は広島大学のOB。医院を営する現役の歯科医師でありながら、日本歯科ボランティア機構(JAVDO)を立ち上げ、ベトナムに歯科医師を派遣して治療支援を行う活動をしていました。歯学部の授業で藤岡先生の講演を聞いた島田さん、「世界が広がったような気がした」と言います。

「当時は、卒業したら免許を取って歯科医師になるという漠然としたイメージを持っていただけ。身につけた知識や技術で世界に貢献できるなんて、考えたこともありませんでした」

何も分かっていなかった

早速、島田さんはJAVDOの学生会員となり第18回派遣団に参加しました。4年生の9月でした。

その時の経験は衝撃的でした。世界には歯科医を切実に必要としている人がいる。日本のトップクラスの医師たちが賢明にそれに応えているすがたが目の前にある。

「歯科医師という仕事を、自分は何も分かっていなかった」と思い知らされました。

帰国後、全国から参加した学生たちとミーティングを重ね、意見交換できたことも刺激的でした。

「後輩たちにもぜひ参加してほしい。きっと貴重な経験になる」——島田さんは考えました。

第1回ドリームチャレンジ賞

JAVDOの意義を伝える方法として島田さんが思いついたのは、参加した学生が実際に経験したこと、感じたことを手記にまとめ、それを



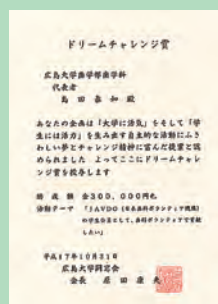
第18回 JAVDO ベトナム派遣団。
(右端が大学4年生時の島田さん)



第43回 JAVDO 派遣団に2度目の参加。
この時は研修医として治療にも当たった。
(手前左が島田さん)

配布することでした。創設されたばかりのドリームチャレンジ賞に応募したのは、その資金を獲得するためです。

「第1回だったので手本とする前例はなかったけど、日ごろ考えていたことをそのまま書きました。気持ちを伝えたかった」



島田さんの提案は第1回ドリームチャレンジ賞に採択され、30万円の助成金を受けることになりました。そしてJAVDOのボランティアに参加する後輩が育っていきました。

歯科医師の舞台は世界へ

現在、島田さんは国立国際医療研究センター病院の口腔外科医として臨床の現場に立っています。その傍ら臨床研究にも取り組んでおり、国際学会で毎年発表するなど海外の研究者と積極的に交流しています。また他の診療科と連携して海外で共同研究を行うなど、活動の場は国際的に広がっています。

「臨床医として蓄積した知識を研究に活かしたい。目標は海外でも活躍できる歯科医師です」
学生時代、藤岡先生の話に感動した時から、島田さんは広い世界を目指して着実に歩き続けているようです。



ドリームチャレンジ賞の助成で制作した『ベトナム滞在記』。30部ほど印刷して配布した。

株式会社本田技術研究所 代表取締役社長
本田技研工業株式会社 常務執行役員

みべ としひろ 三部 敏宏さん

(1987年 大学院工学研究科 修士課程修了)

クルマやバイク、ロボットからビジネスジェット機まで、時代をリードする技術力で多様な製品を送り出している本田技研工業。研究開発に特化した「本田技術研究所」の社長・三部敏宏さんは、入社以来、クルマのエンジン開発に携わってきた生え抜きのエンジニアです。ホンダに入社した意外な理由や、手応えを感じたプロジェクトについて、就活を控えた学生たちとざっくばらんに語り合ってもらいました。

金太郎飴にはなりたくない！

学生さんの前でナンだけど、大学の講義、あまり出なかったですね。大学は学食を食べに行くところですよ(笑)。しかも入学して1年半ぐらいで、工学部は早々に東広島市に移転して、自宅通学から田んぼの中のアパート暮らし。周囲に遊ぶところもないし、雨が降ると泥まみれになって、それは大変でしたよ。

自動車産業が華やかだった時代ですからね、「卒業して自動車業界に就職」と漠然と思っていた。広島は地元にはマツダがあるし、先輩たちは当然のようにマツダに就職するわけですよ。でも、それ

に抵抗があった。金太郎飴みたいにみんなおなじ、というのにね。

「もう2年勉強したら、好きな自動車メーカーに就職できるぞ」という先生の甘い言葉で大学院に進んだんですが、いやあ、甘くなかった。まず、代返が利かないからサボれない。先生は企業で戦闘機のエンジン開発に携わっていたという人で、やたら厳しい。「学生は1カ月ぐらい寝ないでも大丈夫」という勢いで課

題を出してくる。地獄の特訓でした。ただ、この大学院時代がその後の技術者としてのキャリアのベースになったと思います。厳しいけどあったかい教授でした。

大気よりきれいな排気ガス

なぜホンダか——そう、当時から自動車業界はトヨタが隆盛でした。そこに、独自の技術で挑戦していたのがホンダで

■三部敏宏さんのプロフィール

大阪府豊中市出身。親の転勤に伴い、中学時代から広島市で過ごす。1980年広島市立基町高校を卒業後、広島大学工学部 第一類(機械系)に入学。大学院工学研究科(内燃機関学研究室)に進み、移動現象工学を専攻。1987年本田技研工業株式会社に就職。自動車エンジンを軸とした多様な研究開発に携わる。入社18年目ぐらいから、エンジン関連部門のマネージメントにシフト。2019年4月に株式会社本田技術研究所の社長に就任。

■三部敏宏さんの学生時代

【所属クラブ】

子ども時代、札幌で7年過ごしたので、スキーとスケートは得意。そこで、アイスホッケー部の門を叩くものの、「朝練が4時からで挫折しました」。その後、競技スキー部に入部。しかし、鎖骨骨折でシーズンを棒に振り、最終的にはスキー同好会へ。「ちょうどスキーブーム真っ盛り時代、同好

会らしいのんびりした活動で楽しかったです」

【愛車】

学生時代の愛車遍歴は「日産サニー」、「ホンダCR-X」。「工学部は女子学生が少ないので、助手席に彼女という図に憧れていました(笑)」。現在は「ホンダアコード」のハイブリッドを愛用している。

市場に寄りそいつつ 社会課題の解決に技術でチャレンジし続ける。 同時に達成できれば、ビジネスとして美しい。

す。そのチャレンジングな姿勢が魅力でね。F1ブームとも重なって、「F1エンジンの開発をやりたい」と意気込んで入社しました。ところが、エンジン開発のマネージャーに、「レースでご飯を食べてるわけじゃない」と一蹴されてしまった。

「これからは環境の時代。吸った空気よりも、吐き出す空気の方がきれいになるシステムの開発が使命」と言われて「排出ガス浄化システム」のプロジェクトに入りました。確かにホンダは低排出ガスのクリーンエンジンで世界をリードしていましたが、吸気より排気がきれいなエンジンなんて想像もできなかった。

ハードルは高いほど楽しい

それから10年余り、チームが手がけたエンジンの排気が大気よりもクリーンな数値を示したんです。できないと思われたことができた。当時は精度の高い分析計がなかったので何度も何度も測定を繰り返してねえ。「間違いない、世界初だ!」と確認できた時は本当に嬉しかったなあ。

で、世界で初めてのSULEV(米国における極超低排出ガス車) 適合エンジンを搭載したアコードとして北米で発売



した。これ、カリフォルニア州の新・排出ガス規制LEV IIが施行される2年も前だったんですよ。まさに先駆けだった。ハードルが高いほど、それを越えた時に大きな達成感を得られる。これはエンジニアの法則ですね。

ホンダらしい開発を継続する

とはいえ、クルマを取り巻く環境はほとんど変わっています。今はCASE(C/コネクテッド、A/自動化、S/シェアリング、E/電動化)と呼ばれる技術革新が業界のトレンドで、排ガスを一切出さないゼロエミッションビークルや、交通事故ゼロを実現する自動運転、タッチスクリーン・AI音声アシスト機能などを搭載した車両開発が進んでいます。

私が若かったころは、「免許を取ったらマイカーで彼女とドライブ」が定番で

したが、クルマを持たない若者も増え、持つ人はクルマに新しい価値を求めている。開発の最前線で指揮をとる立場として、そんな時代に追従しつつ、競合他社にも勝たなければならない。それに、ホンダのDNA「社会課題を解決するために、チャレンジし続ける」ことも諦めたくない。これらを同時に達成できれば、ビジネスとして一番美しいし、企業価値も上がると思っています。

グローバルな視点を養おう

入社4年目に、エンジンの情報収集でドイツの関連企業に出向しました。会議でワインを飲むのが当たり前という、ゆる〜いヨーロッパ生活でしたが、世界中の人たちとつながりができて、国際感覚が身に付きました。これから活躍する学生みなさんにも、ぜひこのグローバルな視点を養ってほしい。ツールとして必要なのは、やはり英語力ですね。

それと、やりたいことは自分の意思で決めて下さい。開発は骨が折れる仕事ですが、私にとって「やらされた感」はなかったし、次の結果が出るのがいつも待ち遠しかった。大変だけど、すごくワクワクできたからです。

■株式会社本田技術研究所

自由な発想で研究開発に専念できるように、本田技研工業㈱の研究開発部門を分社化し、1960年に設立。二輪車、四輪車、ライフワークリーション(パワープロダクツ・エネルギー・ロボティクス)、航空機・航空機エンジンの分野で、独創的なモノづくりを実践している。

【取材を終えて】

小谷野 哲馬(総合科学部3年/写真左)

◆個人的には車のお話がとても興味深くて、楽しくお話を聞かせていただきました。さらに、最前線で活躍するOBから普段聞けないようなお話を伺って、変動する社会に対応すること、視点を世界規模に置くことの大切さを教えていただきました。

門脇 響(文学部3年/写真右)

◆「教授や上司の言葉に導かれた」と言われたが、目の前の課題に自分の意志として取り組んでこられたことが積み重なって現在につながっているのだと思った。道は厳しくてもそれが人生の達成感につながっていくのだろうと想像しました。



広 大 ネットワーク

関 西

関西フェニックスの会 設立 10 周年記念植樹式を開催



関西フェニックスの会は、2008年12月に母校広島大学の応援団として関西の広島大学卒業生を中心に発足し、広島大学グローバルキャリアデザインセンターと協力して学生の就職活動支援等を行い、節目の10周年を迎えました。2019年11月2日に東広島キャンパスで開催されたホームカミングデーにおいて、学内に記念植樹を行い、本学創立70周年もあわせてお祝いました。

発足時は20数名で始めた活動も、現在の会員数は約100名となり、大きく発展してきました。植樹したシダレザクラに負けないよう、本会もさらに大きく成長していきたいと思っておりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い致します。

▶ 関西フェニックスの会公式ウェブサイト



関 東

関東ネットワーク 読み応え、アリ。「実は、広大です」

広島大学関東ネットワークのウェブコンテンツ、「広大卒業生訪問数珠つなぎ「実は、広大です」」。現在掲載のセンパイは、パラカ株式会社代表取締役 内藤亨さん（政経学部1979年卒業）。大手証券会社から一転、38歳で起業してコインパーキング業界へ。就活失敗から起業時の資金集めまで、オープンに話してくださいました。経営理念の「一極二元思考」は「物事には必ず陰と陽、表と裏がある。楽しいのは苦しいがあるから楽しい。苦がなくなれば楽もなくなる」という内藤さんの信念。読み応えのあるインタビュー記事です。



▶ 広島大学関東ネットワーク
広大卒業生訪問数珠つなぎ
「実は、広大です」



千田塾
沖縄

広島大学・千田塾の募金を寄附

首里城が原因不明の火災によって焼失したニュースは、沖縄だけでなく全国に衝撃を与えました。広島大学・千田塾は2019年11月11日の交流会で「首里城再建に向けた寄附」が提案され、参加者がその場で募金を行いました。集まった7万2000円は、沖縄県広島大学同窓会副会長の島尻雅彦さんを通じて琉球新報社に寄附されました。

広島大学・千田塾は、広島大学同窓生のビジネス交流の場として2013年に設立。沖縄への親睦旅行や音楽交流会開催など沖縄県広島大学同窓会との交流を深めており、寄附には沖縄の皆さんへの応援の気持ちをこめています。



▶ 広島大学・千田塾についてはこちら



広 島

広島大学マスコミ人の会 メディア業界の 広大卒業生が集まった

メディア業界で活躍する卒業生が年に1回集合するのが広島大学マスコミ人の会。12回目は2019年9月3日、広島市中心部のパーティ会場で開催されました。越智学長をはじめ大学スタッフやメディア業界をめざす現役生も参加。にぎやかなパーティとなりました。



▶ 「広島大学マスコミ人の会」連絡先

TEL : 082-248-0420

中国四国博報堂 / 畑尾

E-mail :

takemi.hatao@hakuhodo.co.jp



首都圏

東京広島県人会懇親パーティに 広大ブース

首都圏で広島県ゆかりの人をつなぐのが東京広島県人会。恒例の新春懇親パーティには、毎回1,000人を超える人が集まります。1月22日、品川プリンスホテルで開催された「東京広島県人会令和2年新春懇親パーティ」には広島大学もブースを出展。研究成果や学生の課外活動報告等のポスター展示、産学官連携商品のサンプル配布を行いました。



湯崎広島県知事や
広島東洋カープの
佐々岡新監督など
広島県にゆかりの各
界の人が集まる新春
パーティ



広島県のアンバサダー「ひろ
しま、宝しまレディ」井上さく
らさん(中央)は広大生

首都圏の情報が集まる東京オフィス
メールアドレスをご登録ください!

登録は無料。ご案内したイベントなどへの参加・
不参加は自由です。

広島大学東京オフィス登録フォーム▶



広島

広島大学校友会

令和元年度学生支援のご報告

ドリームチャレンジ賞と課外活動援助金を2本柱に、広島大学校友会は毎年会員在学生への支援を行っています。令和元年度はドリームチャレンジ賞が71件の提案に対して598万円を助成、課外活動援助金は22のクラブ・サークルに326万円の援助を行いました。

また、2019年12月19日には第12回ドリームチャレンジ賞受賞者の活動実績報告会が開催されました。

新年度のドリームチャレンジ賞については5~6月頃に詳細を発表する予定です。



第13回ドリームチャレン
ジ賞授与式
(2019年10月7日)



第12回ドリームチャレン
ジ賞活動実績報告会

校友会員用Webサービス をご活用ください。



広島大学校友会の会員が、パソコンやスマートフォンを通じて24時間、365日、どこからでも情報の登録・変更・会員検索ができるサービスです。正会員の方は、同期会など会員同士の連絡にもご利用いただけます。

※校友会正会員…広島大学の在学生・同窓生・教職員・元教職員で校友会に終身会費(¥20,000)を納付された方

校友会Webサービスを利用するには
申請手続きを行ってください。

▶ [https://www.hiroshima-u.ac.jp/
koyukai/touroku/web](https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/touroku/web)



※記事に関するお問合せは

TEL082-424-6015 (広島大学校友会事務局)

E.S.S.50年

6月27日(土) 広島に集まろう会

広島大学E.S.S.は今年、創立50周年を迎えます。その半世紀の間にE.S.S.に在籍した卒業生、現役生、集まりませんか。詳しくはメールなどでお問い合わせください。

E.S.S.50周年 広島に集まろう会

と き: 2020年6月27日(土) 17:00~19:00

ところ: ホテルチュールヒビ東方2001

広島県広島市東区光町2丁目7-31

TEL 082-262-5111

問合せ: hirodaieess@gmail.com

kenya13022@hiroshima-u.ac.jp

企画や参加者など決まり次第随時ウェブに
掲載していきます。

アクセスして確認してください。



思い出は**歴史**になる。『広島大学75年史』NOW! 4
 お手持ちの写真・資料をご提供ください。

淳風寮前での新入生記念写真
 -1948年4月-



青木晴夫さん 提供
 1953(昭和28)年文学部英文学専攻卒業
 (最前列右端が青木さん)

広島高師に入学した時、淳風寮の前で撮影したものです。寮監の森滝市郎先生(写真中央和服の男性)は、私たちへ詩吟や音楽鑑賞など文化的教養を教えてくださいました。みんなも先生を尊敬しており、何か問題があると相談に伺っていました。新制大学の発足を受け、私は入試を受けて通ったので広島大学の一期生となりました。

工学部国際親善サッカー大会記念写真
 -1993年7月-



藤谷義信さん 提供
 名誉教授、1978(昭和53)~2004
 (平成16)年工学部建築学科在職

学生時代からサッカーが好きだったこともあり、留学生チームの世話人に加わりました。写真のユニフォームは工学部の援助を得て作ったものです。前列左から3人目の廣安博之先生にご尽力いただきました。これを着て教職員、留学生と一緒に各地へ試合に行ったのが懐かしいです。

【連絡先】 広島大学75年史編纂室(担当:石田)

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学文書館内

電話 082-424-5120 FAX 082-424-6049 E-mail nenshi75@hiroshima-u.ac.jp



表紙は語る

第12回 課外活動援助団体

広島大学エスキーテニス部

「楽しい部活」で学生リーグ優勝を。
 強かった先輩たちにつづけ!



第55代
 上垣内 雅斗 主将
 (工学部2年)

広島出身だけどエスキーテニス
 は入学して知ったという

エスキーテニス、知ってますか? 羽根のついたボールを木製のラケットで、テニスのように打ち合う広島発祥のスポーツ。

「簡単そうに見えるけど、結構、戦術が必要なんです」と上垣内主将。競技はダブルスで、ラリーを続けながらどこでパンチ(強打)を打つか、ペアのコンビネーションがポイントです。2019年は全日本エスキーテニス選手権大会で男子が2部、女子が1部でそれぞれ3位になりました。

大会だけでなく週末の練習に顔を出してくれる先輩もあるとか。3月には卒業生と新しい執行部との顔合わせが行われます。現役生と卒業生のコンビネーションもGOOD!です。



毎年おそろいのTシャツをつくってユニフォームに。
 現在は「30(サンゼロ)世代」と「01(ゼロイチ)世代」
 27人が和気あいあいと練習に励んでいる